



第454号

2025年 4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行



2025年 通常聖年 希望の巡礼者となつて 聖年をともに歩みましょう

教区ホームページ

福音の ひびき

4月の説教者

6日 四旬節第5主日 オリヴェイラ・アウヴェス・ロナウド (東海・長浦教会)

13日 受難の主日 秋元 伸介 (教区)

20日 復活の主日 ハヨン・アドリアヌス・レインゲル (五反城教会)

27日 復活節第2主日 ジェブーラ・エウゲニウス (半田教会)

のとセンNEWS 〈2月〉

みなさまにご支援いただいているカリタスのとサポートセンター(のとセン)の活動や、できごとを紹介していきます。

【2月6日の活動】

今年の冬は一度に雪がドカッと降ることが2-3度あり、輪島も地震、豪雨に続く三つ目の災害として大雪被害が報道されてきました。

【2月15日 空熊町へ物資運搬支援】

空熊町は山の上にある集落で、地震と豪雨で道が崩落し、今も復旧が終わっていない地域です。そこに一人暮らしの世帯がいくつもあり、移動販売が来られなくなったため、重蔵神社での配布物資をお届けしています。

【2月23日 聖母幼稚園前 じんのびカフェ】

この日も雪が残っていて、足元が少し心配でしたが、じんのびカフェを開催しました。すると常連さんも、最近通い始めた方も合わせて26名もいらしてくださいました。

【2月23日 聖母幼稚園前 じんのびカフェ】

この日も雪が残っていて、足元が少し心配でしたが、じんのびカフェを開催しました。すると常連さんも、最近通い始めた方も合わせて26名もいらしてくださいました。



フエポイントカードの半ページがいつぱいになり、初めから欠かさず来てくださっている常連さん7名が景品を受け取りました。景品は全国のみなさまからいただいた手作り小物やカード、クッキーなどです。七尾教会や聖母幼稚園のある南藤橋町は、在宅被災者やみなし仮設にお住いの方が多い地域で、仮設住宅よりも支援が手薄になりがちと懸念されています。わたしたちは発災当初から「じんのび食堂・カフェ」をここで展開してきましたが、それは住民たちが気兼ねなく立ち寄ってゆつくりと(じんのび)、他の人と交流しながら過ごせる場所を提供するためでした。そういった日でした。



信徒協50周年「感謝祭」 広がる能登支援の輪

カトリック名古屋教区 信徒使徒職協議会(信徒協)の設立50周年感謝祭が、2月15日(土)に布池カテドラルで盛大に開催された。第一部では、松浦信郎 司教の司式のもと、半世紀を超える活動への感謝ミサが捧げられた。カテドラルに集う信徒たちは、パイプオルガンの響きと聖歌隊の歌声に包まれ、心を一つにして祈りを捧げた。今年通常聖年。入祭の前に歌われた「希望の巡礼者」、閉祭に行われた聖年の門(中央正門)からの出門は、参加者に深い感動を与えた。



第二部の能登半島チャリティ音楽祭は、冒頭に平松会長の挨拶、教区青年委員会による能登支援報告を行い、南山教会の祈りのつどいグループによるテゼの祈りと黙想からはじまった。続いて南山教会聖歌隊による合唱、歌唱同好会「コーラレ・シヤローム」の合唱。岡崎教会フイリピングループによる聖歌とシヨートドラマ。布池教会の早川志づ江さんと木崎美和さんによるパイプオルガン演奏と歌、石丸由佳さん率いる役員会グループ、みんなで歌った最後の歌「希望の巡礼者」は、会場が重なり合った輪となって一体感に包まれた。

参加者は200人を超え、当日の義援金はミサ献金も合わせて合計334,867円となり、そのすべては教区に届けられ能登半島災害支援に使われる。教区内外への企画に対し、行事運営を担ってくださった(広島巡礼・卯辰山巡礼・お米一握り運動など...)40年を越え新たな活動の場へと移ってきた近年。各地を襲う震災・コロナ禍を経て先が見えない中、自主的な活動を探り様々な活動団体との繋がりを得て情報の大切さを痛感し、その橋渡しを担うスマホニュース。信徒協は皆さんとともに変わらぬ支援と協力を願いながら、信徒使徒職の実践を通して、新たな道を切り開いて行きたい。(信徒協役員会 野村喜世意)

第18回ホスピス聖霊講演会

ホスピスを体験して 伝えたいこと

「ありがとう」と言われて、
看護は喜び



第18回ホスピス聖霊講演会 講師「ありがとう」を伝えるホスピス代表 水野 敏子氏
「ありがとう」と言われて、看護は喜び

第18回ホスピス聖霊講演会が、聖霊病院の聖霊ホールで2月22日(土)の午後開催され、100人を超える聴講者が集まった。講師の水野敏子氏はテーマにそって、見習い看護師時代から今に至るまでの看護師の喜びを語った。予防着姿で現れ、講演開始前から会場の人々と語り、和みあふれる雰囲気の中で始まった。

1999年、愛知国際病院開設時のホスピス部長を勤め、以来ホスピス啓蒙活動を通じ看護の探求に力を注いでいる。数多くの艱難を乗り越えてきた看護体験は、その語り口調からにじみ出るものがあつた。そして、シリーズ・アンダースの講演で、「どこにいても、温かく、もてなされる」その実現のためにホスピスが作られた」と聞いたことから、ケアする側の「温かく、もてなす」その心が、すでにケアになつていると伝えた。

水野氏は、人は息が来なくなっていく、息がしにくい、苦しい状況から、呼吸リハビリである呼吸介助法を、多くの人たち(看護師以外にも)に指導している。15歳で発症した骨肉腫末期患者の卒業式に付き添い、また明け方まで呼吸介助を続けたこと等、多くの体験を語ったが、そこには笑いあり涙ありで、大いに感嘆させられた。

実際に会場で、背中からの介助法を受けると、受けた人はとても穏やかな表情となり、「優しく、ぬくもりの手が背中に残っている」と感想を述べた。「背中に一枚タオルを置き、ゆっくりとやさしく背中をさするので、力を抜いて」

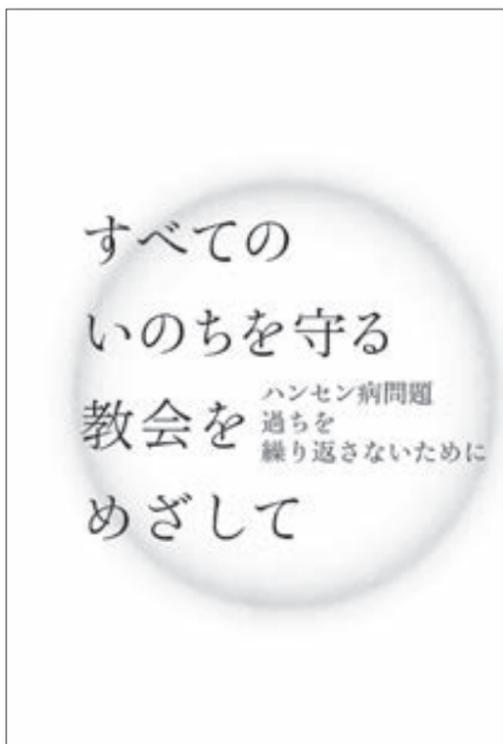
講演の終わりに、たくさんのお話と出会い、ケアや死と関わり向き合った自分の死生観について、「患者さんは強いです。死をどうとらえるか?来るべき時が来た。それは敗北、絶望的なものではなく、死は完結するもの」と語った。

実践を含めた講演会は全会場を惹きつけるものがあり、喜びと元気、これからの力をもらった。水野氏は現在「えぶてーぶる・かんご塾」を主催している。

(聖霊病院
カトリック社会事業室)

日本カトリック司教協議会社会司教委員会編

「すべてのいのちを守る教会を
めざして」
ハンセン病問題
過ちを繰り返さないために



日本政府は戦後、ハンセン病の特効薬プロミンがすでに開発されていたのに「らい予防法」を制定し、戦前からの患者の強制隔離政策を継続した。さらに国際会議で差別的法律の撤廃や強制隔離政策の全面放棄が勧奨されてもなお、隔離政策が改められることはなく、らい予防法が廃止されたのは1996年のことだった。

一方、日本のカトリック教会はキリシタン時代も明治時代も、ハンセン病患者の看護・治療を社会に先駆けて取り組んできた。だが、強制隔離からの解放のためにはほと

んど動かなかった。らい予防法を存続させた政府に対する患者団体の賠償請求が認められても(2001年)なお、教会は何も反応しなかった。

その後、「ハンセン病問題に関する検証会議」が「最終報告書」(05年)で法曹界や福祉界、マスメディアなどと並んで宗教界の役割と責任に言及したが、司教団がハンセン病患者の人権回復に役割を果たせなかったことについて「謝罪声明」を発表したのはやっと2019年のことだった。

しかし、その謝罪声明に対して当事者や支援者たちから、教会がどのよ

うに人権を侵したのか、どこで何を誤っていたのか、反省を込めて振り返ろうとして、さらに5年を費やしたのがこの小冊子である。小さき人々に救いの手を差し伸べようとすると、かえってその人々の人権を損なってしまうことがある。私たちはこうしよう、過去に学ぶ必要がある。

2025年度 正義と平和委員会 学習会
第1回「ゴロー司教と平和について 何でも語ろう」

講師 松浦悟郎司教
(カトリック名古屋教区長、元日本カトリック正義と平和協議会会長)

「世の中には不正義や不公平があふれています。そんな世界で悩み苦しむ人々に救いをもたらすためにイエスさまは来てくださったはず。教会はもっと愛と平和の世界のために声をあげるべきでは」と思う人がいます。

その一方で、「教会に心の平安を求めてやってきたのに、いろいろ世の中の問題に巻き込まれたら落ち着いて祈ることもできません。教会が政治的なことに関わるのはおかしい」と考える人もいます。

一切のタブーなく、何でも率直に、司教様と語り合しましょう。

日時 5月17日(土) 午後1時~2時30分
会場 カトリック布池教会 大聖堂地下ホール
(名古屋市東区葵1-12-23)
地下鉄東山線新栄駅から徒歩8分、桜通線車道駅から徒歩8分、JR 中央本線千種駅から徒歩9分

誰でも参加できます。参加費無料。

主催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会
問合せ 浅野幸治 asano@toyota-ti.ac.jp または090-8860-3627

聖香油ミサのご案内

キリストによる司祭職の制定を記念する聖香油ミサでは、教区で働くすべての司祭が集まって司教と共同司式をします。ミサの中で司教に対する約束の更新を行い、また、司教による聖香油の聖別、洗礼志願者の油と病者の油の祝福が行われ、ともに祈ります。

名古屋教区では毎年、司祭、修道者、奉獻生活者のダイヤモンド・金・銀祝をお祝いしますが、今年もこの聖香油ミサと合わせて行われます。

またミサ後、地下ホールで城東ブロックの方々のご奉仕により、茶話会が準備されます。どうぞそちらにもお立ち寄りくださり、神父様やシスター方とご歓談ください。

日時 4月16日(水) 午前10時30分
場所 布池教会大聖堂
主司式 ミカエル松浦悟郎名古屋教区司教

*公共交通機関でお越しください。

2025年 司祭 修道者
ダイヤモンド・金・銀祝該当者

司祭叙階金祝
ファウゾーネ・アルフォンソ神父 (神言修道会)

司祭叙階銀祝
ダム・ロー神父 (メリノール会)

修道誓願ダイヤモンド祝
Sr. 能登原 典子 (ドミニコ会聖ヨゼフ修道院)

修道誓願金祝
Sr. 松岡 克枝 (ドミニコ会聖ヨゼフ修道院)

修道誓願銀祝
Sr. 小椋 伸子 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr. 眞 成女 (聖マリアの無原罪教育宣教師修道会)



WYD SEOUL 2027

WYD ソウル大会への道

WYD in 名古屋

World Youth Day NAGOYA

本大会で使われる
十字架と聖母子イコンが
日本・名古屋へやってきます!!

2025年
5月6日(火) 10:00~ 受付

- 10:30~ オープニング・十字架を迎えるセレモニー
クロカルフェス
- 12:00~ 昼食(各自)
- 13:00~ 十字架の道行き・十字架礼拝
- 15:00~ 松浦司教司式ミサ

会場:名古屋教区カテドラル **布池教会**



近藤真理生神学生が 祭壇奉仕者の認定式に臨む

カトリック東山教会で
松浦悟郎司教司式による
マキシミリアーノマリア

の祭壇奉仕者認定式が3
月16日(日) 9時半のミ
サの中で行

われた。
「祭壇奉仕者は、感謝
の祭儀の際、司祭や助祭
の助けをしながら奉仕
する役割を担います。信

者の皆さ
んも感謝
の祭儀の
際、聖書
朗読等の
奉仕を行
います
が、教会
として祭
壇奉仕者
を公に任
命すること
いうこと

「祭壇奉仕者は、感謝の祭儀の際、司祭や助祭の助けをしながら奉仕する役割を担います。信者の皆さんも感謝の祭儀の際、聖書朗読等の奉仕を行います。教会として祭壇奉仕者を公に任命することということ

がとても重要なことである。パチカンの公文書の中にも、祭壇奉仕者として選ばれた者は、まず自らが信仰を持って感謝の祭儀に預かり、ご聖体を拝する。そして、その中にある神様との深い交わりを理解し、ミサに参加してそれを示していくかなければならないと書いてあります。あなたがそれを望むなら、私達司祭だけがでなく共同体の皆で支えていきたいと思っております。」

仲間をつなぐ **ウインクあいち** にあつまれ~♪

第15回 日本カトリック障害者連絡協議会

名古屋全国大会 **2026.11.14-15**

想いをつむぐ

日本カトリック障害者連絡協議会(略カ障連)(顧問司教・前田万葉枢機卿)は、3年に1回開催の第15回全国大会を2026年11月14~15日に名古屋のウインクあいちで開催する事に決定!カ障連はミサへの「完全参加と平等」を掲げ、共に福音を述べ広め、どんな重い障害があっても無くても「生まれてきてよかった」という社会へ向けて活動しております。

「いと貧しき者は幸い、神様の国はその人のもの」
全国の仲間が名古屋へ集まれるようご支援やボランティアへの積極的なご協力を!

詳しくはこれから小教区へ訪問させていただきお話しさせて頂きたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。

実行委員長 富永諒(布池教会所属・視覚障害)

サダナ ~神への道~

【入門コース】

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

日時 入門A 5月17日(土) 9:30~17:00
入門B 6月14日(土) 9:30~17:00
入門C 7月5日(土) 9:30~17:00

場所 聖霊会 八事修道院 ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地(駐車可)

指導 植栗 彌 神父(イエズス会)

問合せ 攪上 暁子
メール ngosdn@gmail.com
☎050-7108-7410

参加者喜びの声 右QRコードよりご覧ください。



<2025年度の予定>
■フォローアップ(入門ABC・サダナ1経験者のみ)
いずれかだけでも参加可能。
11月1日(土)
11月2日(日)
11月3日(月・祝)
■【初】ダイアリー(サダナ2経験者のみ)
4日間すべて参加可能な方のみ。部分参加は不可。
2026年1月31日(土)・2月1日(日)・7日(土)・8日(日)

祈りを深めるための研修会

会場 主税町記念聖堂(地下鉄高岳駅1番出口から徒歩9分)

内容 第1回 4月12日(土)「祈りとは」
第2回 5月31日(土)「生活を素材に祈る」
第3回 7月12日(土)「自然を素材に祈る」
第4回 9月27日(土)「み言葉を素材に祈る」
第5回 11月8日(土)「意識の究明」
第6回 2026年3月7日(土)「振り返りと祈りの同伴」

日程 受付 9:30、プログラム10:00~16:00、
ミサ16:00~(希望者)

スタッフ 鈴木 隆(イエズス会霊性センターせせらぎスタッフ)、他4名

参加費 毎回2,000円(各回ごとに支払い)、原則全日程を勧める。

対象 黙想によって日々の霊的生活を深めたい人
(カトリック信者に限らない)

定員 20名(定員になり次第締切)

申込締切 4月5日(QRコードより申込)

問合せ 新谷・攪上 TEL 050-5897-5106

主催 せせらぎ in 名古屋

協力 名古屋教区福音化養成委員会



カトリック一信徒の 「御言葉の分かち合い」 チャンネル

~小教区での実践をめざして~

「今日の私」に語りかける主の御言葉を聞き、その分かち合いをすることは、信徒同士の信仰を深め、育てあう力になります。その一例として、ぜひご視聴ください!

番組QR



連絡先 多田めぐみ
08074479062

Eメール yamanomoricecilia@gmail.com

(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日

4月の教会暦

6日(日) 四旬節第5主日
13日(日) 受難の主日(枝の主日)
17日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
18日(金) 聖金曜日・主の受難(大斎・小斎)
聖地のための献金
19日(土) 聖土曜日
20日(日) 復活の主日(祭)
27日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
29日(火) 祝聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士(記)

5月の主な教会暦(主日・祭日など)

4日(日) 復活節第3主日
11日(日) 復活節第4主日
18日(日) 世界召命祈願の日
18日(日) 復活節第5主日
25日(日) 復活節第6主日
世界広報の日(献金)

教区行事予定 (* 松浦司教)

8日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会
12日(土) 典礼委員会コアミーティン
グ/殉教者委定例会/信徒協役員会
15日(火) カトリック看護協会例会
16日(水) 聖香油ミサ* ダイヤモン
ド・金・銀祝の祝い*
17日(木) 顧問会*
20日(日) 愛岐B会議
26日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク

27日(日) リア
29日(火) 岐阜教会堅信式*
殉教者委「浦上キリシタン流配者のためのミサ」
典礼委「教区典礼研修会」

5月

3日(土) 祝殉教者委定例会
10日(土) 宣教司牧評議会運営委*
AJU創立35周年式典*
典礼委員会コアミーティン
グ/信徒協役員会
11日(日) ミサと講演会(多治見教会)
* インターナショナル・ミサ(南山教会)
* 城東B会議
13日(火) 樹の会
15日(木) 月集*
17日(土) 正義と平和委「講演会」
樹の会・総会講演会/レジオ・マリエ「名古屋クリア」
18日(日) 大阪高松教区管区司教団
大船渡視察とミサ*
20日(火) カトリック看護協会例会
25日(日) 愛岐B兄弟の集い/北陸B
会議/一粒会「委員総会」
31日(土) 顧問会*
教区法人評議員会*

4月

3日(木) 常任司教委員会 会議
26日(土) 全国デスク会議(福岡)

教区行事以外の松浦司教予定

31日(土) 教区法人評議員会*

告知板

◆4月の炊き出し

木3日東山、10日布池、17日南山・樹の会、24日城北橋
金4日喜望の会、11日南山、18日布池、25日一宮

8日(木) 常任司教委員会 会議
18日(日) 大阪高松教区管区司教団
大船渡視察とミサ

建設費の返済に協力を

674件 36,023,214円
目標額 40,000,000円 (2月末現在)

達成率 約90.0%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

めぐみカンガンバル!!

.....by あこ

材木屋さんへの注文書
丈夫な木 長いのと短いの本ずつ
4/18まで

金物屋さんへの注文書
よく刺さる五寸釘 3本
板をとめる釘1本
納品日4/18

誰もがきつとそれとは知らずにイエスの十字架を用意する
そして その十字架を

それを作った人たちが救うための道具に使ってしまったおとうと神さまの

あと22日!
その不思議な計画が今まさに現在進行中!



〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉

【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

日時 4月26日(土) 14:30~16:30
テーマ エズラ・ネヘミヤ記の全体構造とメッセージ
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)
参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)
以降の予定 5月17日(土)、6月21日(土)

【静修の集い】

日時 6月28日(土) 10:00~15:00
講話担当 九里彰神父(カルメル修道会)
スケジュール 講話① ご聖体顕示 昼食
講話② ミサ 茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。
どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

教区人事異動

第一次人事異動

神言会の小教区担当司祭の人事異動。4月1日付けの任命で、移動は復活祭後となる。

- ・城東ブロック
 - 南山教会 主任司祭
 - キシヤケール ビジュ アウグ
 - スチン(ビジュ) 神父
- ・城南ブロック
 - 東海教会 助任司祭
 - ヴァルギース レジモン(レジ) 神父
- ・三河ブロック
 - 安城教会 主任司祭
 - パウロ楊成源(ヤン) 神父
- ・名古屋教区から移動する司祭
 - * フィラデルフィ パヴォル
 - ウロ) 神父は、南山教会から神
 - 言神学院の指導司祭兼修練長
 - へ。
 - * ノヴァク ボグスクワ ジグム
 - ント(ボクダン) 神父は、安城
 - 教会から吉祥寺教会へ。
 - * 品田豊神父は、神言会管区会計
 - 担当から西町教会へ。
 - * オリヴェイラ アウヴェス ロ
 - ナウド神父は、東海教会・長浦
 - 教会からイタリア・ローマへ留
- ・濃尾ブロック
 - 岐阜教会 主任司祭
 - 平田豊彦神父(教区)
- ・愛岐ブロック
 - 瀬戸教会 主任司祭
 - ペトロ・イシユトク神父(CO
 - NV)
 - 異動は4月1日
- ・城北ブロック
 - 城北橋教会 協力司祭
 - 根田健二神父(MSC)
- ・城南ブロック
 - 日比野教会 助任司祭
 - シンプリシウス・ザワ(リウス) 神父(OCN)
- ・異動は6月1日
 - 八熊教会 主任司祭
 - 北村雅彦神父(教区)

第二次人事異動

異動は、記述が無ければ復活祭後となる。

- ・城北ブロック
 - 城北橋教会 協力司祭
 - 根田健二神父(MSC)
- ・城南ブロック
 - 日比野教会 助任司祭
 - シンプリシウス・ザワ(リウス) 神父(OCN)
- ・異動は6月1日
 - 八熊教会 主任司祭
 - 北村雅彦神父(教区)

学。

その他

- ・聖心布教会の地区長は、今年からテットホール ジョセフ ベルナルドウス(ベルン) 神父から、スサント プリヨ神父に交代。
- ・その他
 - * テーラー・ブライアン神父(MSC) 引退
- ・名古屋教区から移動する司祭
 - * ニコラス・スワイアテック神父(CO
 - NV) 奄美修道院へ

教区年間行事予定 修正のお知らせ

年頭に各小教区等に配布された2025年カトリック名古屋教区年間行事予定表に、その後いくつかの変更がありましたので、訂正をお願いします。

- ・一粒会「委員総会」
2025年5月18日 → ㊥5月25日
- ・月集
2025年11月20日 → ㊥11月27日
- ・性虐待被害者のための祈りと償いの日
2026年3月7日 → ㊥3月6日

聖地のための献金 聖金曜日

14世紀中ごろ、教皇クレメンス六世は、パレスチナ各地の巡礼所とヨーロッパからの巡礼者保護をフランシスコ会に委託しました。その後、政情不安定な聖地で苦労している修道者たちを支えるために行われるようになった献金は、いつのころからか主の受難と死を記念する聖金曜日にささげられるようになりました。そして教皇レオ十三世は1887年、カトリック教会のすべての小教区にこの聖地のための献金を命じました。

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などの資金として使われています。



MSC(聖心布教会)
OCN(カルメル修道会)
CONV(コンベンツアル聖フランシスコ会)